

【南大隅町】
校務 DX 計画

1. 現状及び成果

本町では、統合型校務支援システムを導入しており、セキュリティの確保のため、教員用 GIGA 端末で使用する学習系ネットワークと校務系のネットワークは分離している。

校務共有システム（See-Smile）で教師間の連携を図り、校務支援システム（スズキ校務）により、出席簿のデータを一元管理し、デジタルで管理することで、校務の効率化が図られている。

2. 校務 DX 化の課題

学習系データと校務系データが分離しているため、連携が十分に行えていない状況である。

教職員一人一人の実情に合わせた柔軟かつ安全な働きを可能とするため、セキュリティ対策を十分に講じた上で、1 台の端末で学習系データと校務系データをシームレスに活用できるよう取り組む必要がある。

3. 校務 DX 化の今後の計画

（1）クラウドサービス活用の拡充

マイクロソフト Teams をはじめとするコミュニケーションツールを活用し、チャット及びファイルの共有化などを推進する。

保護者用の連絡ツールや自動採点ツールなど、様々なクラウドサービスに関する調査や研究を行い、導入の在り方について検討する。

（2）校務における生成 AI の活用推進

国や県の動向を踏まえ、生成 AI の仕組みの理解や、学びに活かす力を育むことは重要であるという認識のもと、情報モラルを含めた適切な利用について今後検討を進めていく。

（3）校務支援システム等の更新に向けた検討

現在の環境に対する課題や、次期環境に向けた要望等を把握したうえで、次世代型校務支援システムについて、関する調査を行い、導入に向けた検討を行っていく。